



明倫

舞鶴市立明倫小学校

平成31年 4月 8日

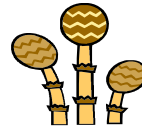


新しい時代に向かって

今年は桜の花を長く楽しむことができます。先日咲き始めた桜は寒の戻りで足踏みしていましたが、この暖かさで満開となり春の訪れを感じる今日この頃です。

明倫小学校は旧田辺藩学問所「明倫館」のあとに建てられています。藩校として「明倫館」という名称がついているのは全国で14校あるそうです。「明倫」というのは「人倫を明らかにする、すなわち人の守るべき道義を明らかにする。」という意味です。来月から新しい元号「令和」が始まりますが、伝統を守りつつ新しい時代に向かってはばたく児童を育てていきたいと思えます。

昨年度より京都府小学校教育研究会の研究協力校として、理科の教科を中心に研究を進めております。今年度も引き続き研究協力校として取り組んでまいります。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



校長 池田 弘一
職員一同

今年度の教育目標

校名「明倫」の伝統を受け、心豊かでたくましく、
自ら学び世界にはばたく児童の育成

目指す子ども像

自ら学び続ける子
人とのつながりを大切にする子
心もからだもきたえる子
ふるさとを愛し誇りに思う子

目指す教師像

子どもの声に耳を傾け
ともに歩む教師
教える道を 深く探求する教師
地域を愛し 地域に尽くす教師

新しい学習指導要領

学校で教える内容の基本となっている学習指導要領が、新元号令和2年から変更されます。「主体的・対話的で深い学び」の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を進めます。5、6年生の外国語科、3、4年生の外国語活動の時間数も増え、道徳も教科として指導します。そのため今年度から水曜日を6校時とし、授業時間数を増やしますのでご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。水曜日の下校時刻は昨年度とほぼ変わらないように調整しております。

週時程表も少し変更しましたので、配布の際にご確認ください。